

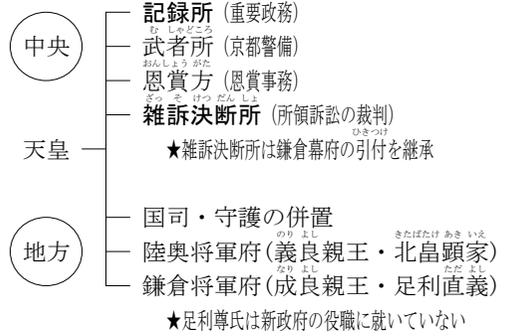
[A] 建武の新政(建武の中興)

- 1334年～**建武の新政**(天皇親政の復活→幕府・摂関・院政を否定)
- (1) 延喜・天曆の治(醍醐・村上天皇の治世)を模範
 - (2) 綸旨(天皇の意思を伝える文書)を絶対万能とする
個別安堵法(土地の所有権の確認は綸旨が唯一の根拠)
 - (3) 大内裏の造営計画(造営費のため造幣・新税を計画)
 - (4) 乾坤通宝の発行計画(新貨幣・新紙幣の発行を計画)

[新政の混乱]

- ① 武士の不满(武家社会の慣習を無視(御成敗式目の年紀法などを否定))
(恩賞の不公平・大内裏造営費として二十分の一税の負担)
- ② 公家の不满(公家社会の慣習を否定(家柄の無視・恣意的な官職の任免))
- ③ 農民の不满(大内裏の造営計画などにより農民の負担が増大したため)
ex. 若狭国太良荘(東寺(教王護国寺)領)が提出した申状

[建武の新政の職制]

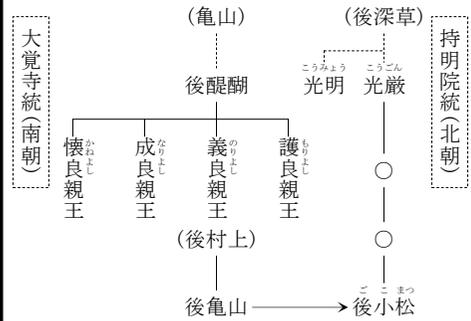


建武の新政

新政

- 1334年 二条河原の落書(新政への風刺) in 『建武年間記』
- 1335年 中先代の乱(北条時行(北条高時の子)が信濃で挙兵し、鎌倉を一時占拠)
鎌倉将軍府が占拠された混乱に乗じて、足利直義が幽閉中の護良親王を殺害
→足利尊氏が反乱を鎮圧して鎌倉を奪回した後、建武政権に反旗をひるがえす
- 1336年 湊川の戦い(摂津国)(楠木正成が戦死)
→入京した足利尊氏は**光明天皇**(持明院統)を擁立(北朝)
→その後、後醍醐天皇(大覚寺統)は吉野へ逃れる(南朝)
★光明天皇に偽の三種の神器を譲渡→以後、約60年間近く南北朝の動乱が続く

図解NOTE [天皇家系図]



南北朝の動乱

[北朝 = 光明天皇 (持明院統) in 京都(山城国)]

『梅松論』(北朝の正統性を示す)
★作者不詳→尊氏側近の武将によって執筆されたものか?

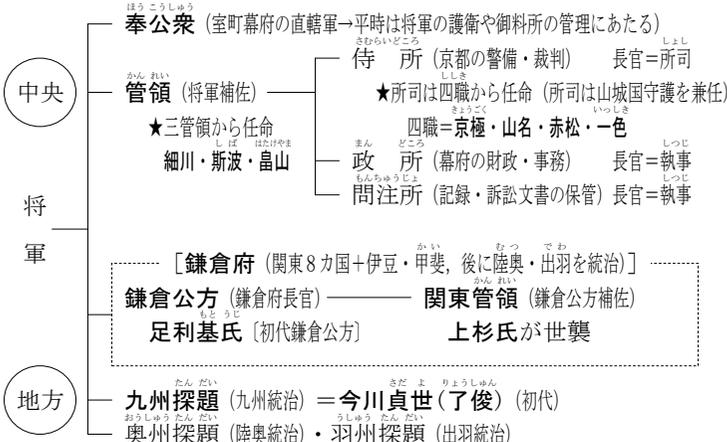
[南朝 = 後醍醐天皇 (大覚寺統) in 吉野(大和国)]

北畠親房『神皇正統記』(南朝の正統性を示す)
★奥州・東国で南朝勢力の維持・拡充に努める→常陸国の小田城で執筆

- 1336年 **建武式目**(足利尊氏が定めた17カ条の当面の政治方針)
足利尊氏の諮問に中原章賢(是円)らが答申する形式
- ① 幕府の所在地の選定(鎌倉におくか京都に移すか)
 - ② 政道の事(1) 儉約を行い(倭佐羅(派手な行動)を禁止
(2) 守護には戦功よりも能力を重んじて任命)
- ★基本法令=御成敗式目・追加法令=建武以来追加
- 1338年 足利尊氏が**征夷大将軍**に就任

- 1338年 石津の戦い(和泉国)(北畠親房が戦死)
- 1338年 藤島の戦い(越前国)(新田義貞が戦死)
★後醍醐天皇が死去(1339)→後村上天皇(義良親王)が即位
- 1348年 四条畷の戦い(河内国)(楠木正行が戦死)
★北朝側の高師直が吉野を焼き打ち→南朝側は賀名生へ逃れる

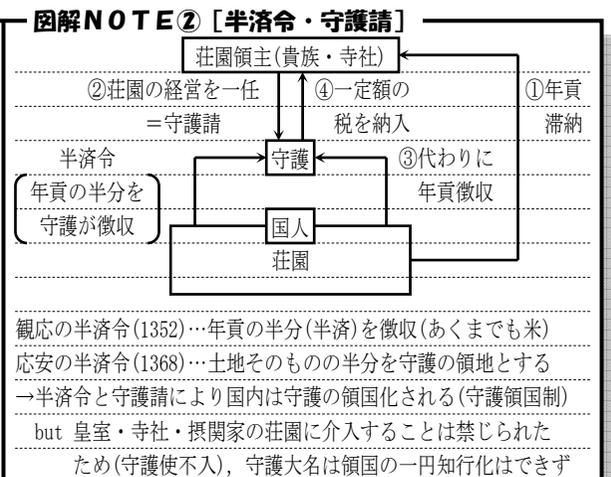
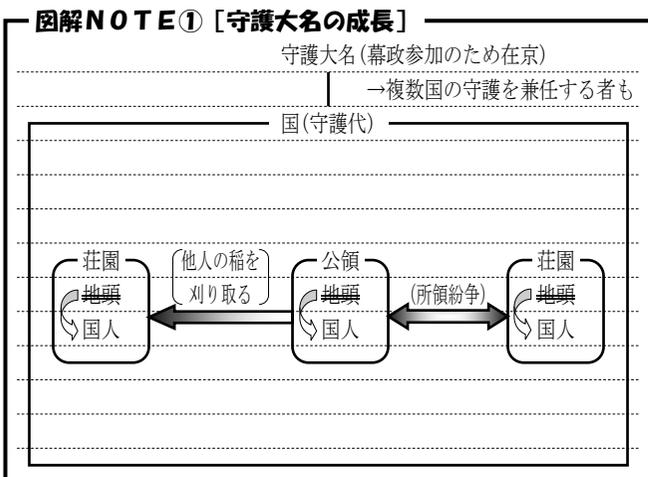
室町幕府の機構(足利義満の頃に整う)



直轄領	御料所 (幕府の直轄する荘園) 年貢・公事・夫役を徴収
商工業者 政所が徴収	倉役 (土倉から徴収) 酒屋役 (酒屋から徴収)
庶民 守護が徴収	段銭 (田地1段ごとに課した臨時税) 棟別銭 (家屋1棟ごとに課した臨時税)
関・津	関銭 (関所での通行税) 津料 (港での入港税)
貿易	抽分銭 (日明貿易の際の輸入税として 貿易商から利益の1/10を徴収)
その他	分一銭 (幕府に納入する債権・債務 額の1/5 or 1/10の手数料)

[B] 南北朝の動乱と合一(1336~1392)

室町幕府の動向		守護大名の成長と抑任	
尊氏	1338年~足利尊氏(兄)・足利直義(弟)の二頭政治 尊氏(軍事指揮権など主從制的支配権を担う) 直義(所領裁判権など統治権的支配権を担う) [親応の擾乱(1350~52)] (急進派) 足利尊氏(征夷大將軍) (漸進派) 足利直義(尊氏の弟) 高師直(尊氏の執事) 足利直冬(直義の養子) (伝統的権威を否定し、在地での武士の權益拡大を支持) VS (伝統的権威の秩序維持を尊重し、公武協調を模索) ★ばさら(伝統無視・派手な行動)として近江の佐々木尊賢も有名 ①足利直義が高師直を殺害→足利尊氏が鎌倉で足利直義を毒殺 ②足利直冬が尊氏に敗北→のち、尊氏は子の足利義詮に將軍を譲る	★国人(地縁的に結びつき、自立的な権力を強めた荘官・地頭などの在地領主) 1346年 劉田狼藉(他人の稲を刈り取る行為)の取り締まり権 使節遵行権(裁判の判決を幕府に代わり守護が強制的に執行する)	
	義詮 1368年 足利義満が3代將軍に就任(=足利義詮の死去) 管領の細川頼之(のち康暦の政変で失脚)が足利義満を輔佐 [九州における南朝の抵抗] 1371年 南朝の懷良親王(征西將軍)が九州を統一 1372年 北朝の今川貞世(了俊)(九州探題)が制圧 1378年 幕府を京都三条殿から京都室町殿に移転 足利義満が京都に建てた將軍邸は「花の御所」と呼ばれる [朝廷の京都市政権(検非違使の管轄)接收] 侍所(検非違使の京都警察権・裁判権を接收) 政所(検非違使の京都商業課税権(倉役・酒屋役の徴収)を接收)	1352年 半済令(親応令) 荘園・公領の年貢の半分を兵糧米として徴収する権利を守護に認める ★戦乱の激しかった近江・美濃・尾張の3国で1年限りの臨時に施行 →のち、各地の守護たちの要望により全国的・永続的に行われる 1368年 半済令(応安令) ①皇室・寺社・摂関家領を除いた荘園・公領の年貢の半分を徴収 ②荘園・公領の下地そのものの折半を認める(事実上の下地中分) ★守護請(守護が荘園・公領の一定の年貢納入を請け負う制度) [国衙の行政機能の吸収(守護の権限強化を背景に獲得)] 段銭・棟別銭(田地・家屋ごとに賦課する権限を朝廷(国司)から接收) [守護大名の成長] 守護は幕府から与えられたこれらの権限を行使し、国人を被官(家臣)とし、一国全体に及ぶ支配を確立した守護大名へと成長。守護が任国を領国化した支配体制を守護領国制、守護の代官を守護代というが、一円知行化はできず (勢力が強大化しすぎた守護大名を足利義満が抑任)	
義満 1392年 足利義満の斡旋で南北朝が合一 後龜山天皇(南朝)が後小松天皇(北朝)に讓位 →三種の神器(皇位の象徴としての鏡・劍・玉)を讓渡 1394年 足利義満が太政大臣に就任(征夷大將軍を辞任) 翌年出家して道義と名乗る→北山殿(のち鹿苑寺金閣)を建立	1390年 土岐氏の乱 by 土岐康行(美濃中心の守護大名) 1391年 明德の乱 by 山名氏清(山陰中心の守護大名) 11カ国の守護を兼任=六分一殿(六分一衆)と称された 1399年 応永の乱 by 大内義弘(周防・長門中心の守護大名) 6カ国の守護を兼任→堺(和泉国)で反乱を起こすが敗死		



[A] 建武の新政(建武の中興)

- 1334年～ _____ (_____ の復活→幕府・摂関・院政を否定)
- (1) _____ (_____ ・ _____ 天皇の治世) を模範
 - (2) _____ (天皇の意思を伝える文書) を絶対万能とする
_____ (土地の所有権の確認は論旨が唯一の根拠)
 - (3) **大内裏の造営計画** (造営費のため造幣・新税を計画)
 - (4) _____ の発行計画 (新貨幣・新紙幣の発行を計画)

[新政の混乱]

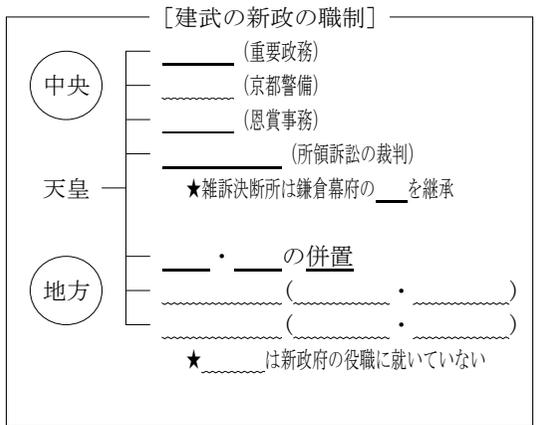
- ① **武士の不满** (武家社会の慣習を無視(御成敗式目の _____ などを否定))
(恩賞の不公平・大内裏造営費として二十分の一の税の負担)
- ② **公家の不满** (公家社会の慣習を否定(家柄の無視・恣意的な官職の任免))
- ③ **農民の不满** (大内裏の造営計画などにより農民の負担が増大したため)
ex. _____ 国 _____ 荘 (_____ 領) が提出した申状

建武の新政

南北朝の動乱

室町幕府の機構

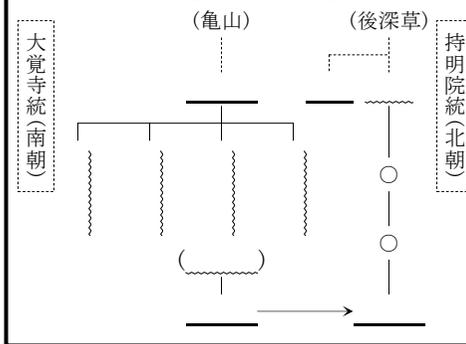
(の頃に整う)



_____ 年 _____ (新政への風刺) in 『 _____ 』
 _____ 年 _____ (_____ (北条高時の子) が _____ で挙兵し、鎌倉を一時占拠)
 鎌倉将軍府が占拠された混乱に乗じて、 _____ が幽閉中の _____ 親王を殺害
 →足利尊氏が反乱を鎮圧して鎌倉を奪回した後、建武政権に反旗をひるがえす

_____ 年 _____ の戦い(摂津国) (_____ が戦死)
 →入京した足利尊氏は _____ 天皇 [_____ 統] を擁立(北朝)
 →その後、 _____ 天皇 [_____ 統] は _____ へ逃れる(南朝)
 ★光明天皇に偽の _____ を譲渡→以後、約 _____ 年間近く南北朝の動乱が続く

図解NOTE [天皇家系図]



[北朝 = _____ 天皇 [_____ 統] in 京都(山城国)]
 『 _____ 』(北朝の正統性を示す)
 ★作者不詳→尊氏側近の武将によって執筆されたものか?

VS

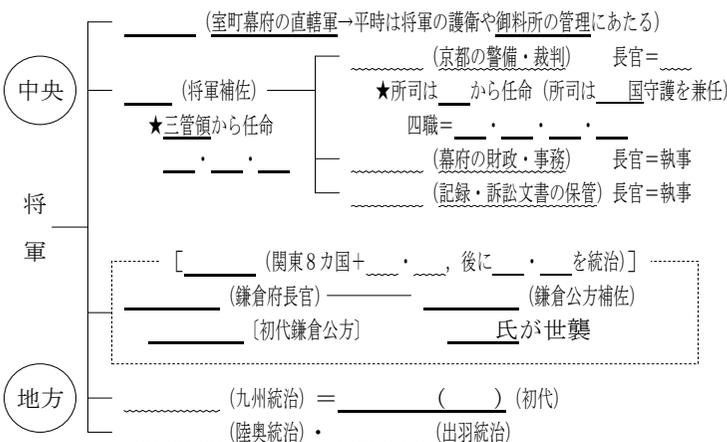
[南朝 = _____ 天皇 [_____ 統] in _____ (大和国)]
 『 _____ 』(南朝の正統性を示す)
 ★奥州・東国で南朝勢力の維持・拡充に努める→ _____ 国の _____ 城で執筆

_____ 年 _____ (_____ が定めた _____ カ条の当面の政治方針)
 _____ の諮問に _____ らが答申する形式

- ①幕府の所在地の選定 (_____ におくか _____ に移すか)
- ②政道の事(1) 儉約を行い _____ (派手な行動) を禁止
(2) 守護には戦功よりも能力を重んじて任命

★基本法令 = _____ ・追加法令 = _____
 _____ 年 _____ が _____ に就任

1338年 _____ の戦い(和泉国) (_____ が戦死)
 1338年 _____ の戦い(越前国) (_____ が戦死)
 ★後醍醐天皇が死去(1339)→ _____ 天皇(義良親王)が即位
 1348年 _____ の戦い(河内国) (_____ が戦死)
 ★北朝側の高師直が吉野を焼き打ち→南朝側は賀名生へ逃れる



直轄領	_____ (幕府の直轄する荘園) _____ 年貢・公事・夫役を徴収
商工業者	_____ (土倉から徴収)
政所が徴収	_____ (酒屋から徴収)
庶民	_____ (田地1段ごとに課した臨時税)
守護が徴収	_____ (家屋1棟ごとに課した臨時税)
関・津	_____ (関所での通行税) _____ (港での入港税)
貿易	_____ (日明貿易の際の輸入税として貿易商から利益の1/10を徴収)
その他	_____ (幕府に納入する債権・債務額の1/5 or 1/10の手数料)

[B] 南北朝の動乱と合一 (1336~1392)

室町幕府の動向	守護大名の成長と抑任
<p>1338年~ _____ (兄)・ _____ (弟) の二頭政治 尊氏 (軍事指揮権など主従制的支配権を担う) 直義 (所領裁判権など統治権的支配権を担う)</p> <p>〔 _____ (~~~~~) 〕 (急進派) (漸進派) _____ (征夷大將軍) _____ (尊氏の弟) _____ (尊氏の _____) _____ (直義の養子)</p> <p>〔 伝統的権威を否定し、在地での武士の権益拡大を支持 〕 VS 〔 伝統的権威の秩序維持を尊重し、公武協調を模索 〕</p> <p>★ _____ (伝統無視・派手な行動) として近江の _____ も有名 ① _____ が _____ を殺害→ _____ が鎌倉で _____ を毒殺 ② _____ が尊氏に敗北→のち、尊氏は子の _____ に將軍を譲る</p>	<p>★ _____ (地縁的に結びつき、自立的な権力を強めた荘官・地頭などの在地領主)</p> <p>1346年 _____ (他人の稲を刈り取る行為) の取り締まり権 _____ 権 (裁判の判決を幕府に代わり守護が強制的に執行する)</p> <p>_____ 年 _____ (_____ 令) 荘園・公領の年貢の半分を兵糧米として徴収する権利を守護に認める ★戦乱の激しかった _____ ・ _____ ・ _____ の3国で1年限りの臨時に施行 →のち、各地の守護たちの要望により全国的・永続的に行われる</p>
<p>_____ 年 _____ が3代將軍に就任 (→足利義詮の死去) 管領の _____ (のち康暦の政変で失脚) が足利義満を輔佐 [九州における南朝の抵抗]</p> <p>1371年 南朝の _____ (征西將軍) が九州を統一 1372年 北朝の _____ (九州探題) が制圧</p> <p>1378年 幕府を京都三条殿から京都室町殿に移転 足利義満が京都に建てた將軍邸は「 _____ 」と呼ばれる [朝廷の京都市政権 (_____ の管轄) 接收] _____ (検非違使の京都警察権・裁判権を接收) _____ (検非違使の京都商業課税権 (倉役・酒屋役の徴収) を接收)</p>	<p>_____ 年 _____ (_____ 令) ①皇室・寺社・摂関家領を除いた荘園・公領の年貢の半分を徴収 ②荘園・公領の下地そのものの折半を認める (事実上の下地中分) ★ _____ (守護が荘園・公領の一定の年貢納入を請け負う制度)</p> <p>[国衙の行政機能の吸収 (守護の権限強化を背景に獲得)] _____ ・ _____ (田地・家屋ごとに賦課する権限を朝廷(国司)から接收)</p> <p>_____ [_____ の成長] _____ 守護は幕府から与えられたこれらの権限を行使し、国人を家臣(被官)化し、 一国全体に及ぶ支配を確立した _____ へと成長。守護が任国を領国化した 支配体制を _____, 守護の代官を _____ というが、一元知行化はできず</p> <p>↓ (勢力が強大化しすぎた守護大名を足利義満が抑任)</p>
<p>_____ 年 _____ の斡旋で南北朝が合一 ← _____ 天皇 (南朝) が _____ 天皇 (北朝) に讓位 → _____ (皇位の象徴としての鏡・剣・玉) を讓渡</p> <p>1394年 _____ が _____ に就任 翌年出家して道義と名乗る→ _____ (のち _____ 寺) を建立</p>	<p>_____ 年 _____ by _____ (_____ 中心の守護大名) _____ 年 _____ by _____ (山陰中心の守護大名) 11カ国の守護を兼任= _____ (_____) と称された _____ 年 _____ by _____ (周防・長門中心の守護大名) 6カ国の守護を兼任→ _____ (和泉国) で反乱を起こすが敗死</p>

